

## Broaden your horizons 96 ~上海体験記(上海事情)~



こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。

お待たせしました「上海体験記」の続きです。上海のお給料は日本円でざっくり5万円、物価は日本のざっくり1/3～1/4です。しかし、人口13億人の中国には富裕層が1億人もいます。

そうです、日本の人口と同じぐらい富裕層がいるのです。す、すごい……。そう言えば、カナダに住む友人が「バンクーバーオリンピックのとき、中国人がブランド品を買い占めた。日本人とはスケールが違うよ」と話していました。その一方で、貧富の差にも天と地ほどの差があります。超高層ビルの裏側には、そんな現実が潜んでいます。

「地下鉄は危ない」と聞いていたので、移動はタクシーでしたが……。車内がとても汚く……。運転がとても荒く……。一種のアトラクションでした(笑)。せっかくなので、地下鉄にも乗ってみようと思い、チャレンジしてみました。広東語でモウマンタイ(無問題)! 日本語で大丈夫! 明るいし、きれいだし、安いし(2元:約34円)、快適でした。車内では日本と同じく、皆がみんな携帯を触っています。でも、何が違う……。あっ、圧倒的に若者が多いのです。これだけ未来の働き手、担い手がいる中国は、まだまだ発展していくのでしょうか。日本はGDPだけではなく、民力でも、あつという間に追い抜かされるぞ、そんな驚異を抱きました。

次に、中国4000年の歴史が育んだ食です。「本場の北京ダックが食べたい!」とお願いして、上海でも指折りの高級店に連れて行ってもらいました。でも、日本で1羽2万円もする北京ダックが、な、なんと3千円と超激安なのです。お財布も太っ腹なら、お腹も太っ腹です。2人で1羽、何というぜい沢でしょう。上海蟹とフカヒレのスープ、何という幸せでしょう。しかも、メニューがiPodなので、中国語が分からなくても写真で選べてしまいます。そして、一つ分かったことがあります。中国では料理を余るほど注文し、余った料理をお持ち帰りするのが一般的なのです。「どう見てもこんなに食べきれませんよ!」というくらい注文します。もったいない文化の日本人には理解できませんが、もてなしを受ける側が料理を全部食べきってしまうと、歓迎が足りないということになり、もてなす側に恥をかかせることになるそうです。ですから、余らせることが、十分おもてなしができたことになるわけです。な～んだ、大阪名物「くいだおれ」のように食べる必要はなかったのね(笑)。<つづく>

Medisere(メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子